

令和2年度（2020年度）  
 卓越大学院プログラム プログラムの基本情報 [採択時公表。ただし、項目12、13については非公表]

機関名		名古屋大学		機関番号		13901	
1.	プログラム名称	ライフスタイル革命のための超学際移動イノベーション人材養成学位プログラム					
	英語名称	Graduate Program for Lifestyle Revolution based on Transdisciplinary Mobility Innovation					
2.	全体責任者 (学長)	ふりがな 氏名(職名)	まつお せいいち 松尾 清一(名古屋大学総長)	※ 共同申請のプログラムの場合は、全ての構成大学の学長について記入し、申請を取りまとめる大学(連合大学院によるもの場合は基幹大学)の学長名に下線を引いてください。			
3.	プログラム責任者	ふりがな 氏名(職名)	さそう あきひろ 佐宗 章弘(名古屋大学副総長)				
4.	プログラム コーディネーター	ふりがな 氏名(職名)	かわぐち のぶお 河口 信夫(名古屋大学未来社会創造機構教授)				
5.	設定する領域	最も重視する領域 【必須】	②社会において多様な価値・システムを創造するような、文理融合領域、学際領域、新領域				
		関連する領域(1) 【任意】	④世界の学術の多様性を確保するという観点から我が国の貢献が期待される領域				
		関連する領域(2) 【任意】	なし				
		関連する領域(3) 【任意】	なし				
6.	主要区分	最も関連の深い区分 (大区分)	J				
		最も関連の深い区分 (中区分)	61	人間情報学およびその関連分野			
		最も関連の深い区分 (小区分)	61030	知能情報学関連			
		次に関連の深い区分 (大区分)【任意】	なし				
		次に関連の深い区分 (中区分)【任意】	なし				
		次に関連の深い区分 (小区分)【任意】	なし				
7.	授与する博士学 位分野・名称	博士(工学)、博士(情報学)、博士(環境学)、博士(経済学)、博士(法学)、博士(建築学)、 博士(社会学)、博士(地理学)、博士(理学) 付記する名称：超学際移動イノベーション人材養成学位プログラム修了					
8.	学生の所属する 専攻等名  (主たる専攻等がある場 合は下線を引いてくだ さい。)	名古屋大学大学院 人文学研究科：人文学専攻 法学研究科：総合法政専攻 経済学研究科：社会経済システム専攻、産業経営システム専攻 情報学研究科：数理情報学専攻、複雑系科学専攻、社会情報学専攻、 心理・認知科学専攻、情報システム学専攻、知能システム学専攻 工学研究科：電気工学専攻、電子工学専攻、情報・通信工学専攻、機械システム工学専攻 マイクロ・ナノ機械理工学専攻、航空宇宙工学専攻、土木工学専攻 環境学研究科：地球環境科学専攻、都市環境学専攻、社会環境学専攻					
9.	連合大学院又は共同教育課程による申請の場合、その別 ※ 該当する場合には○を記入			10. 本プログラムによる学位授与数(年度当たり)の目標 ※ 補助期間最終年度の数字を記入してください。			
連合大学院		共同教育課程		12名			
11. 連携先機関名(他の大学、民間企業等と連携した取組の場合の機関名)							
WHILL(株)、(株)MTG Ventures、(株)KDDI総合研究所、(株)ゼロワンブースター、総合警備保障(株)、 損害保険ジャパン(株)、中部国際空港(株)、(株)ティアフォー、(株)デンソー、トヨタ自動車(株)、 トヨタテクニカルディベロップメント(株)、(株)三井住友銀行、ヤフー(株)、ヤマハ発動機(株)、 岐阜大学、ミシガン大学(米国)、バージニア工科大学(米国)、オハイオ州立大学(米国)、 チャルマース工科大学(スウェーデン)、シンガポール国立大学(シンガポール)、 チュラロンコン大学(タイ)、ハノイ工科大学(ベトナム)							

(機関名：名古屋大学 プログラム名称：ライフスタイル革命のための超学際移動イノベーション人材養成学位プログラム)

[採択時公表]

14. プログラム担当者一覧							
※「年齢」は公表しません。							
番号	氏名	フリガナ	機関名・所属(研究科・専攻等)・職名	学位	現在の専門	役割分担	ポート 予定 (割合)
1	(プログラム責任者) 佐宗 章弘	サソウ アキヒロ	名古屋大学・副総長	工学博士	航空宇宙工学	プログラム責任者	0.5
2	(プログラムコーディネーター) 河口 信夫	カワガチ ノブオ	名古屋大学未来社会創造機構モビリティ社会 研究所・教授	博士(工学)	先端情報システム	プログラムコーディネーター・ 学位プログラム運営委員会委員 長・教育研究指導	3.5
3	鈴木 達也	スズキ タツヤ	名古屋大学大学院工学研究科機械システム工 学専攻・教授	工学博士	システム制御工学	サブプログラムコーディネ ーター・学位プログラム運営委員 会副委員長・教育研究指導	2.5
4	谷川 史郎	タニカワ シロウ	名古屋大学未来社会創造機構モビリティ社会 研究所・ディレクター/特任教授	学士(工学)	事業戦略・産学官 連携	サブプログラムコーディネ ーター・産学共創委員会委員	2
5	榊原 千鶴	サカキハラ チヅル	名古屋大学男女共同参画センター・教授	博士(文学)	女性教育史	履修生支援委員会委員長・教育 研究指導	2
6	林 秀弥	ハヤシ シュウヤ	名古屋大学大学院法学研究科総合法政専攻・ 教授	博士(法学)	独占禁止法、情報 通信法制	教務委員会委員・教育研究指導	2
7	長谷川 泰久	ハセガワ ケイスケ	名古屋大学大学院工学研究科マイクロ・ナノ 機械理工学専攻・教授	博士(工学)	ロボット工学	広報委員会委員長・教育研究指 導	2
8	三輪 和久	ミワ カズヒサ	名古屋大学大学院情報学研究科心理・認知科 学専攻・教授	工学博士	認知科学	教務委員会副委員長・教育研究 指導	2
9	山里 敬也	ヤマザト ケイヤ	名古屋大学教養教育院教養教育推進室・教授	博士(工学)	通信工学、教育工 学	アドミッション委員会委員長・ 教育研究指導	2
10	青木 宏文	アオキ ヒロフミ	名古屋大学未来社会創造機構モビリティ社会 研究所・特任教授	博士(工学)	人間工学	産学共創委員会委員長・教育研 究指導	2
11	井手 一郎	イデ イチロウ	名古屋大学数理・データ科学教育研究セン ター・教授	博士(工学)	メディア情報学	国際連携委員会委員長・教育研 究指導	2
12	原 進	ハラ ススム	名古屋大学大学院工学研究科航空宇宙工学専 攻・教授	博士(工学)	機械力学、制御工 学	アドミッション委員会副委員 長・教育研究指導	2
13	山本 俊行	ヤマモト トシユキ	名古屋大学未来材料・システム研究所・教授	博士(工学)	交通計画学	教務委員会委員長・教育研究指 導	2
14	米澤 拓郎	ヨネザワ タクロウ	名古屋大学大学院工学研究科情報・通信工学 専攻・准教授	博士(政策・メ ディア)	先端情報システム	総務委員会副委員長・教育研究 指導	2
15	出口 大輔	デグチ ダイスケ	名古屋大学大学院情報学研究科知能システム 学専攻・准教授	博士(情報科 学)	画像処理、パター ン認識	広報委員会副委員長・教育研究 指導	2
16	平山 高嗣	ヒラヤマ タカツグ	名古屋大学未来社会創造機構・特任准教授	博士(工学)	ヒューマンコン ピュータインタラ クション	産学共創委員会副委員長・教育 研究指導	2
17	松原 茂樹	マツハラ シゲキ	名古屋大学情報連携統括本部情報戦略室・教 授	博士(工学)	自然言語処理	財務委員会委員長・教育研究指 導	1.5
18	杉山 範子	スギヤマ ノリコ	名古屋大学大学院環境学研究科持続的共発展 教育研究センター・特任准教授	博士(環境学)	気候政策、臨床環 境学	教務委員会委員(On-site Research Training担当)・教育 研究指導	1.5
19	井料 美帆	イリョウ ミホ	名古屋大学大学院環境学研究科都市環境学専 攻・准教授	博士(工学)	交通工学	国際連携委員会委員(NUGELP担 当)・教育研究指導	1.5
20	小川 泰弘	オガワ ケイスケ	名古屋大学情報基盤センター・准教授	博士(工学)	法情報処理	財務委員会委員・教育研究指導	1.5
21	竹内 栄二郎	タケuchi エイジロウ	名古屋大学大学院情報学研究科知能システム 学専攻・准教授	博士(工学)	知能移動ロボッ ト・確率ロボティ クス	産学共創委員会委員(Testbed Design and Development担 当)・教育研究指導	1.5
22	久木田 水生	クキタ ミチオ	名古屋大学大学院情報学研究科社会情報学専 攻・准教授	博士(文学)	哲学	産学共創委員会委員・教育研究 指導	1.5
23	浦田 真由	ウラタ マユ	名古屋大学大学院情報学研究科社会情報学専 攻・講師	博士(情報科 学)	社会情報学	アドミッション委員会委員・教 育研究指導	1.5
24	武田 一哉	タケダ カズヤ	名古屋大学未来社会創造機構モビリティ社会 研究所・教授	博士(工学)	行動信号処理	総務委員会委員長・教育研究指 導	1
25	松下 千雅子	マツダ チカコ	名古屋大学大学院人文学研究科人文学専攻・ 教授	博士(文学)	ジェンダー学	教務委員会委員・教育研究指導	1

(機関名：名古屋大学 プログラム名称：ライフスタイル革命のための超学際移動イノベーション人材養成学位プログラム)

14. プログラム担当者一覧(続き)

氏名	フリガナ	機関名・所属(研究科・専攻等)・職名	学位	現在の専門	役割分担	アワード 予定 (割合)	
26	山口 景子	ヤマガチ ケイコ	名古屋大学大学院経済学研究科産業経営システム専攻・准教授	博士(経済学)	マーケティング	教務委員会委員・教育研究指導	1
27	水野 幸治	ミズノ コウジ	名古屋大学大学院工学研究科機械システム工学専攻・教授	博士(工学)	自動車工学、材料力学	国際連携委員会委員(NUSIP担当)・教育研究指導	1
28	鷺谷 威	サギヤ タケン	名古屋大学減災連携研究センター・教授	博士(理学)	地震変動学	産学共創委員会委員・教育研究指導	1
29	金 相美	キム ソミ	名古屋大学大学院人文科学研究科人文学専攻・准教授	博士(社会情報学)	社会情報学、ニューメディア論	広報委員会委員・教育研究指導	1
30	森川 高行	モリカワ タカユキ	名古屋大学未来社会創造機構モビリティ社会研究所・教授	Ph. D.	交通計画、先進モビリティ学	財務委員会委員・教育研究指導	1
31	三枝 麻由美	サエギサ マユミ	名古屋大学男女共同参画センター・准教授	Ph. D. (Sociology)	社会学、ジェンダー平等	履修生支援委員会委員・教育研究指導	1
32	石原 亨	イシハラ トオル	名古屋大学大学院情報学研究科情報システム工学専攻・教授	博士(工学)	情報工学、コンピュータ科学	履修生支援委員会委員・教育研究指導	1
33	浅野 みどり	アサノ ミドリ	名古屋大学大学院医学系研究科総合保健学専攻・教授	博士(看護学)	家族看護学・予防的支援・Well-being	履修生支援委員会委員・教育研究指導	1
34	高田 広章	タカダ ヒロアキ	名古屋大学未来社会創造機構モビリティ社会研究所・教授	博士(理学)	組み込みシステム	総務委員会委員・教育研究指導	1
35	山下 博美	ヤマタ ヒロミ	名古屋大学大学院環境学研究所・客員准教授	Ph. D.	環境社会学	教務委員会委員(On-site Research Training担当)・教育研究指導	1
36	藤井 俊彰	フジイ トシアキ	名古屋大学大学院工学研究科情報・通信工学専攻・教授	博士(工学)	画像工学	教務委員会委員・教育研究指導	1
37	上出 寛子	カミデ ヒロコ	名古屋大学未来社会創造機構モビリティ社会研究所・特任准教授	博士(人間科学)	社会心理学	履修生支援委員会委員・教育研究指導	1
38	東 俊一	アズマ シュンイチ	名古屋大学大学院工学研究科機械システム工学専攻・教授	博士(工学)	システム制御工学	履修生支援委員会委員・教育研究指導	1
39	中川 由賀	ナカガワ ユカ	名古屋大学未来社会創造機構モビリティ社会研究所・客員教授	学士(法学)	刑法、刑事訴訟法	産学共創委員会委員・教育研究指導	1
40	間瀬 健二	マセ ケンジ	名古屋大学大学院情報学研究科知能システム工学専攻・教授	博士(工学)	マルチモーダルインタラクション	産学共創委員会委員・教育研究指導	1
41	古谷 礼子	フルヤ レイコ	名古屋大学大学院工学研究科国際交流室・准教授	教育学博士	教育学	国際連携委員会委員・教育研究指導	1
42	柳浦 睦憲	ヤギウラ ムツリ	名古屋大学大学院情報学研究科数理情報学専攻・教授	博士(工学)	組合せ最適化	履修生支援委員会委員・教育研究指導	1
43	松尾 陽	マツオ ユウ	名古屋大学法政国際教育協力研究センター・教授	博士(法学)	法哲学	教務委員会委員・教育研究指導	1
44	岡本 耕平	オカモト コウヘイ	名古屋大学大学院環境学研究所・客員教授	博士(地理学)	人文地理学	教務委員会委員・教育研究指導	1
45	荒見 玲子	アラミ レイコ	名古屋大学大学院法学研究科総合法専攻・准教授	博士(法学)	政策学・行政学・地方自治	教務委員会委員・教育研究指導	1
46	三輪 富生	ミワ トモオ	名古屋大学未来材料・システム研究所・准教授	博士(工学)	交通計画学	財務委員会委員・教育研究指導	1
47	赤渕 芳宏	アカブチ ヨシヒロ	名古屋大学大学院環境学研究所社会環境学専攻・准教授	修士(法学)	環境法学	総務委員会委員・教育研究指導	1
48	小沢 浩	オザワ ヒロシ	名古屋大学大学院経済学研究科産業経営システム専攻・教授	博士(経済学)	原価管理	教務委員会委員・教育研究指導	1
49	加藤 博和	カトウ ヒロカズ	名古屋大学大学院大学院環境学研究所附属持続的発展教育研究センター・教授	博士(工学)	土木計画学、低炭素都市・交通戦略	教務委員会委員(On-site Research Training担当)・教育研究指導	1
50	Emanuel Langat LELEITO	エマニユエル ランガット レイト	名古屋大学大学院工学研究科国際交流室・講師	博士(工学)	都市計画・防災	国際連携委員会委員・教育研究指導	1
51	栗田 昌裕	クリタ マサヒロ	名古屋大学大学院法学研究科実務法曹養成専攻・教授	博士(法学)	民法	教務委員会委員・教育研究指導	1
52	外山 勝彦	トヤマ カツヒコ	名古屋大学情報基盤センター・教授	工学博士	自然言語処理、法情報処理	教務委員会委員・教育研究指導	1
53	束村 博子	ツカムラ ヒロコ	名古屋大学大学院生命農学研究科・教授/男女共同参画センター長	農学博士	生殖科学、家畜繁殖学	教務委員会委員・教育研究指導	1
54	村瀬 洋	ムラセ ヒロシ	名古屋大学大学院情報学研究科知能システム工学専攻・教授	工学博士	画像認識	教務委員会委員・教育研究指導	0.5
55	森 健策	モリ ケンサク	名古屋大学大学院情報学研究科知能システム工学専攻・教授	博士(工学)	画像処理	広報委員会委員・教育研究指導	0.5

(機関名：名古屋大学 フリガナ名称：ライフスタイル革命のための超学際移動イノベーション人材養成学位プログラム)

14. プログラム担当者一覧（続き）

氏名	フリガナ	機関名・所属(研究科・専攻等)・職名	学位	現在の専門	役割分担	アワード 予定 (割合)
56 戸田 智基	トダ トモキ	名古屋大学情報基盤センター教育情報メディア研究部門・教授	博士(工学)	音メディア情報処理	アドミッション委員会委員・教育研究指導	0.5
57 長谷川 浩	ハセガワ ヒロシ	名古屋大学大学院工学研究科情報・通信工学専攻・教授	博士(工学)	フォトリソグラフィネットワーク	広報委員会委員・教育研究指導	0.5
58 Masayoshi TOMIZUKA	トミヅカ マサヨシ	名古屋大学未来社会創造機構モビリティ社会研究所・客員教授/University of California at Berkeley	Ph. D.	Dynamic Systems & Control	国際連携アドバイザー	0.5
59 奥田 隆明	オクダ タカキ	南山大学(名古屋大学未来社会創造機構モビリティ社会研究所・客員教授 R2(2020).5.1)	博士(工学)	交通事業論・地域戦略論	履修生支援委員会委員・教育研究指導	0.5
60 石川 良文	イシカワ リョウブン	南山大学(名古屋大学未来社会創造機構モビリティ社会研究所・客員教授 R2(2020).5.1)	博士(工学)	都市・地域経済学、政策評価	履修生支援委員会委員・教育研究指導	0.5
61 福岡 宗明	フクオカ ムネアキ	WHILL株式会社・CTO	修士(工学)	技術全般	産学共創研究・起業実践担当	0.5
62 藤田 豪	フジタ コウ	株式会社MTG Ventures・代表取締役	学士(経営学)	VC	産学共創研究・起業実践担当	0.5
63 大岸 智彦	オオキシ トモヒコ	株式会社KDDI総合研究所・コネクティッドカー2グループ・グループリーダー	博士(工学)	コネクティッドカー向け通信技術とその応用	産学共創研究・TDD (Testbed Design and Development) 担当	0.5
64 合田 剛	ゴウダ タケシ	株式会社ゼロワンブラスター・共同代表/取締役	修士(電気電子工学)/MBA	経営・事業創造	産学共創研究・起業実践担当	0.5
65 菅原 美智子	スガハラ ミチコ	総合警備保障株式会社セキュリティ科学研究所・主任開発/研究専門員	学士(工学)	センシング	産学共創研究・TDD (Testbed Design and Development) 担当	0.5
66 新海 正史	シンカイ マサシ	損害保険ジャパン株式会社リテール商品業務部・課長	学士(法学)	自動運転対応保険商品開発	産学共創研究・TDD (Testbed Design and Development) 担当	0.5
67 宮下 豊	ミヤシタ ユカ	中部国際空港株式会社・経営企画部・戦略推進グループリーダー	学士(工学)	空港事業	産学共創研究・TDD (Testbed Design and Development) 担当	0.5
68 加藤 真平	カトウ シンペイ	株式会社ティアフォー・取締役兼CTO	博士(工学)	サイバーフィジカルシステム	産学共創研究・起業実践担当	0.5
69 伊藤 義人	イトウ ヨシト	株式会社デンソー技術企画部価値創造プロジェクト・認定プロフェッショナル/技師/担当部長	機械工学士	事業創造	産学共創研究・TDD (Testbed Design and Development) 担当	2
70 金森 等	カネモリ ヒトシ	トヨタ自動車株式会社・プロフェッショナルパートナー	工学修士	人間工学	産学共創研究・TDD (Testbed Design and Development) 担当	0.5
71 尹 英杰	イン エイケツ	トヨタテクニカルディベロップメント株式会社・担当部長	工学博士	制御工学・シミュレーション	産学共創研究・TDD (Testbed Design and Development) 担当	0.5
72 河合 健吾	カワイ ケンゴ	株式会社三井住友銀行・法人戦略部長/名古屋法人ソリューションセンター長	学士(経営学)	経営戦略	産学共創研究・起業実践担当	0.5
73 一円 真治	イチエン シンジ	ヤフー株式会社検索統括本部移動交通本部・エンジニア	修士(工学)	エンジニア(Web・地図)	産学共創研究・TDD (Testbed Design and Development) 担当	0.5
74 飯田 実	イイダ ミル	ヤマハ発動機株式会社先進技術本部・研究開発統括部長	修士(理学)	エンジン燃焼	産学共創研究・TDD (Testbed Design and Development) 担当	0.5
75 倉内 文孝	クラウチ フミカ	岐阜大学大学院工学研究科工学専攻・教授	博士(工学)	交通工学、交通計画	履修生支援委員会委員・教育研究指導	0.5
76 速水 悟	ハヤミス サトル	岐阜大学大学院工学研究科工学専攻・教授	博士(工学)	メディア情報学	履修生支援委員会委員・教育研究指導	0.5
77 Katsuo KURABAYASHI	クラバヤシ カツオ	University of Michigan, Department of Mechanical Engineering / Electrical Engineering & Computer Science・Professor	Ph. D.	マイクロ・ナノ工学	国際連携推進・グローバル体験担当	0.5
78 Miguel A. PEREZ	ミゲル ペレス	Virginia Polytechnic Institute and State University・Virginia Tech Transportation Institute・Director of the Center for Data Reduction and Analysis Support・Associate Professor in Biomedical Engineering and Mechanics	Ph. D.	Big Data Analytics	国際連携推進・グローバル体験担当	0.5
79 Umit OZGUNER	ウミット オズグナ	Ohio State University・Department of Electrical and Computer Engineering・Professor Emeritus	Ph. D.	Intelligent Transportation Systems (ITS)	国際連携推進・グローバル体験担当	0.5
80 Pinar Boyraz BAYKAS	ピナボライズ ベイカス	Chalmers University of Technology・Mechanics and Maritime Sciences Department・Associate Professor	Ph. D.	Active Vehicle Safety	国際連携推進・グローバル体験担当	0.5
81 ONG Ghim Ping Raymond	オンギム ビンレイモンド	National University of Singapore・Department of Civil and Environmental Engineering・Assistant Professor	Ph. D.	Multimodal Transport Systems	国際連携推進・グローバル体験担当	0.5
82 Angkee SRIPAKAGORN	アンキー スリパカゴーン	Chulalongkorn University・Smart Mobility Research Center / Department of Mechanical Engineering・Director / Associate Professor	Ph. D.	Advanced powertrain system	国際連携推進・グローバル体験担当	0.5
83 LE Anh Tuan	レアン トゥアン	Hanoi University of Science and Technology・School of Transportation Engineering・Dean / Professor	Ph. D.	Internal combustion engine, renewable energy sources	国際連携推進・グローバル体験担当	0.5











































# 超学際とは

様式2(2) p.7

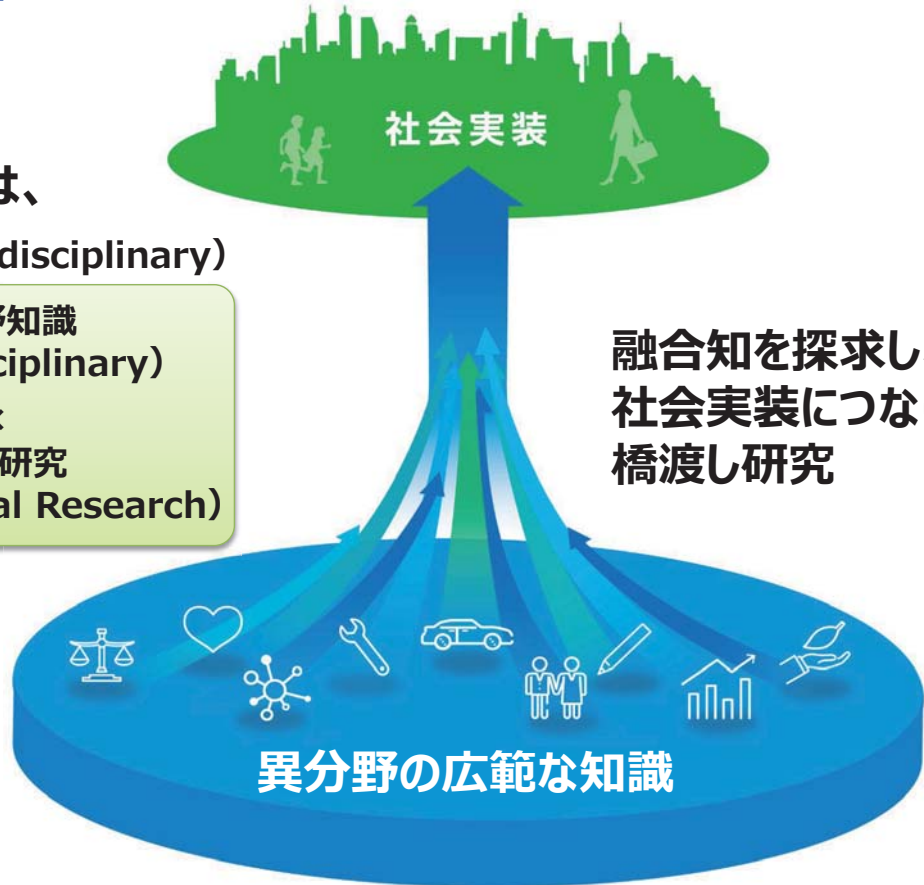
様式2(4) p.17

Graduate Program for Lifestyle Revolution based on Transdisciplinary Mobility Innovation

本プログラムでは、  
**超学際** (Transdisciplinary)

異分野知識  
(Multidisciplinary)  
×  
橋渡し研究  
(Translational Research)

と定義



## ライフスタイル革命のための 超学際移動イノベーション人材

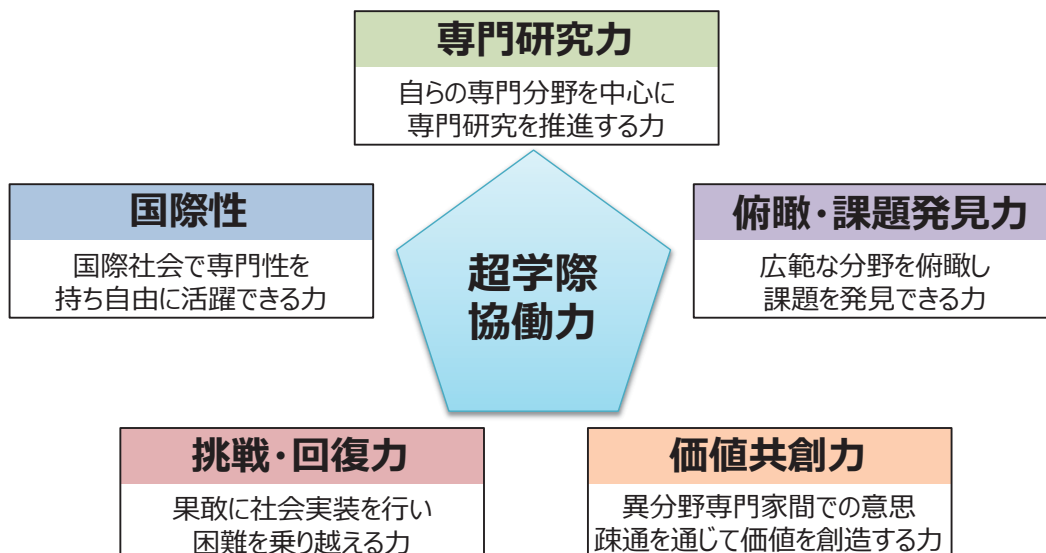
様式2(2) p.7



Graduate Program for Lifestyle Revolution based on Transdisciplinary Mobility Innovation

自らの専門分野を深化し「移動」に関する実践的知識を用い  
**専門家チームによる超学際協働**ができる  
ライフスタイル革命のための人材

### 超学際協働力を構成する5つの力



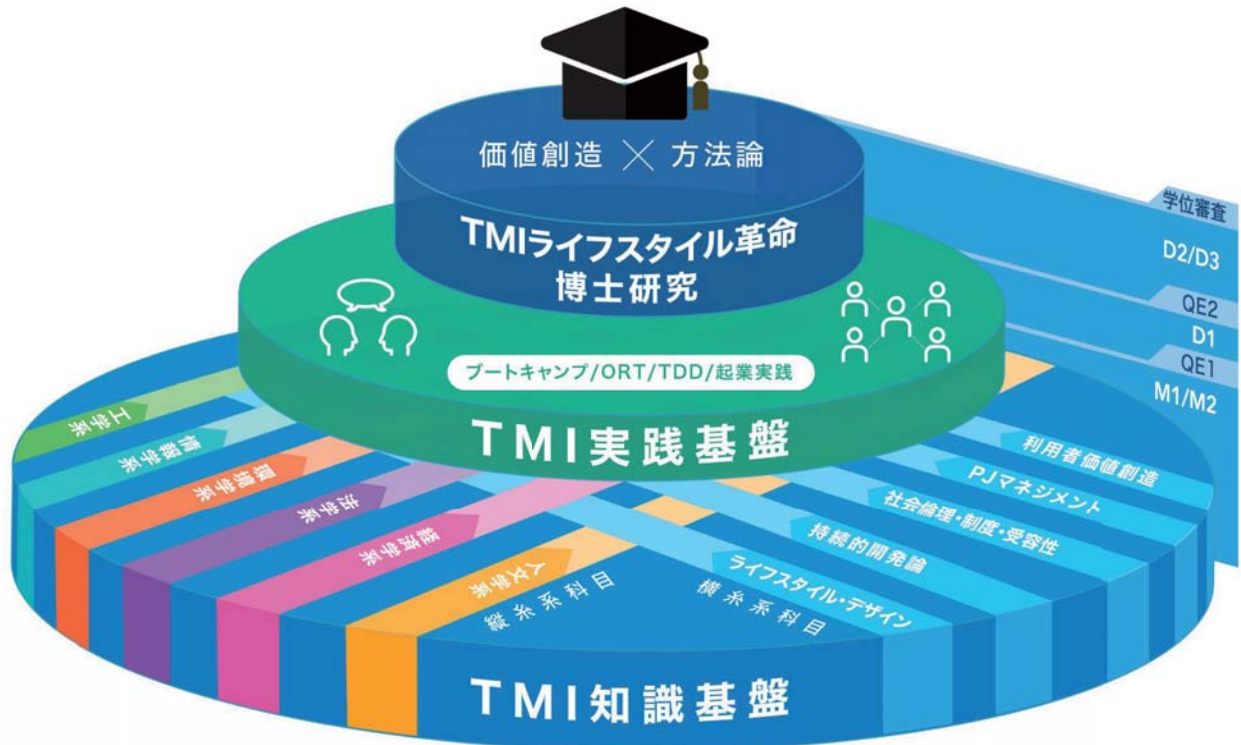


# 超学際協働力を育む 3階層カリキュラム

様式2(2) p.8



Graduate Program for Lifestyle Revolution based on Transdisciplinary Mobility Innovation



移動イノベーションを切り口に、異分野における俯瞰的知識と実践を涵養



# 超学際協働力（5つの力）

様式2(4) p.17



Graduate Program for Lifestyle Revolution based on Transdisciplinary Mobility Innovation

各科目には、超学際協働力を構成する5つの力のポイントを割り振り

必須科目

			専門研究力	俯瞰・課題 発見力	価値 共創力	挑戦・ 回復力	国際性
TMI知識基盤	縦系・横系型 コースワーク	縦系系科目	◎				
		横系系科目	○	◎	○		
		国際プログラム	○				◎
	超学際教員討論型講義			○	◎		
	移動イノベーション共通講義		○	◎			
	卓越セミナー		○	◎			
TMI実践基盤	TMIブートキャンプ <sup>o</sup>				◎	○	
	ORT			○	◎		
	TDD				◎	○	
	オンラインサポート実践		○	○	○		
	起業実践				○	◎	
	グローバル体験					○	◎
TMIライフスタイル 博士研究	産学共創研究		◎	○	◎		
	博士研究		◎	○	○	○	

必達ポイント

60pt

20pt

20pt

20pt

20pt

(機関名：名古屋大学 プログラム名称：ライフスタイル革命のための超学際移動イノベーション人材養成学位プログラム)





# TMI知識基盤： 縦糸・横糸型コースワーク

様式2(2) p.8



Graduate Program for Lifestyle Revolution based on Transdisciplinary Mobility Innovation

## 縦糸系科目 それぞれの専門性を深める科目群

人文社会系科目/工学系科目/環境学系科目  
法学系科目/経済学系科目/情報学系科目

## 横糸系科目 異分野にまたがる知識を学ぶ科目群

トランスファラブル・スキル  
としての「知」の基盤

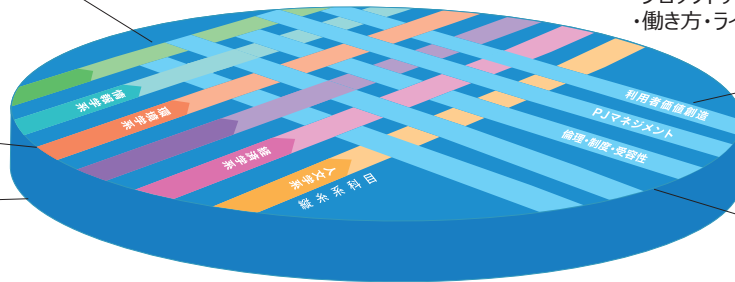
- ・デザイン思考
- ・システムズ思考
- ・研究者倫理
- ・リーダーシップ論
- ・時空間データ分析
- ・情報システム活用

多様な社会、ライフスタイルの  
変化とその対応の学び

- ・ダイバーシティ / ジェンダー
- ・インクルーシブ / 多文化共生
- ・少子高齢化 / 保健衛生
- ・プロダクトデザイン / ユニバーサルデザイン
- ・働き方・ライフスタイル改革

## 国際プログラム

NUSIP  
NUGELP  
G30



## 移動イノベ共通講義 「移動」を俯瞰する能力を養う

- ・モビリティサービスデザイン
- ・認知科学とモビリティ変革
- ・デジタル設計技術
- ・電動化システム/パワーデバイス
- ・組込みシステム
- ・人間工学と運転支援
- ・車と高齢者
- ・モビリティ技術の変遷

## 超学際教員討論型講義

# TMI知識基盤：

## 超学際教員討論型講義

様式2(2) p.8



Graduate Program for Lifestyle Revolution based on Transdisciplinary Mobility Innovation

複数名の異なる専門分野の教員が、  
それぞれの観点から特定のテーマに  
関する討論を行う講義

### テーマ例

- ・ インクルーシブな移動とは？
- ・ 地域のコミュニティバスの現状と将来
- ・ 移動困難時における課題の連鎖

### 価値共創力



### 俯瞰・課題発見力

### インタラクティブ性を重視

- ・ 学生側にも事前知識を求め、事前に予習すべき事項（オンライン講義等）を指示。当日は、各自の意見を発表することを求め、議論を活性化。
- ・ 社会実装まで含めた異分野教員間の討論に参加し、異なる視点からの刺激を受ける

### 教育効果

討論を行う姿を通じて、異なる観点の理解が深まり、  
さらに、社会実装に向けた橋渡し研究の難しさを認識できる

### 相乗効果

真の超学際教育・研究を行うための教員間の相互理解が深まる



# TMI実践基盤：超学際移動イノベーション ブートキャンプ

様式2(2) p.9



Graduate Program for Lifestyle Revolution based on Transdisciplinary Mobility Innovation

2泊3日で、履修生・異分野教員・社会人がTMIによるライフスタイル革命について、合宿形式で集中的に議論し、アイデアを出し、発表・評価を相互に行う



## 3日間の プログラム例

1日目	2日目	3日目
	チーム毎ディスカッション	最終まとめ作業
集合・オリエンテーション	各チーム目標発表	最終発表会
ライフスタイル・インプット 民間企業からのインプット	メンターによる講評とサポート	全員による相互評価と講評
アイデアワークショップ チーム分け	各チーム中間発表	



価値共創力



俯瞰・課題発見力



挑戦・回復力

## TMI実践基盤：

# ORT/TDD

様式2(2) p.9



Graduate Program for Lifestyle Revolution based on Transdisciplinary Mobility Innovation



## ORT: Onsite Research Training

ライフスタイルにおける価値を確認するためにも、現場（自治体等）に入りこむ形での調査研究を実施

臨床環境学で実施されている「現場」（自治体・コミュニティ・企業）が持つ問題を明確化、解決法を提案することを通じて実施体験を学ぶ

価値共創力

俯瞰・課題発見力



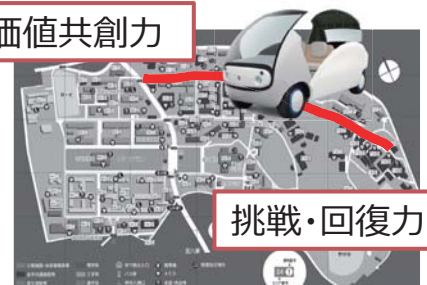
## TDD: Testbed Design and Development

様々な実証研究で活用するためのテストベッドを企業と産学共創で設計から開発・実装までを実施

学内や企業・地域に、小型モビリティや、サービス実証のための環境を構築するための議論設計と開発実践を行う

価値共創力

挑戦・回復力



設計から関わることにより、研究開発における様々な要素の重要性を確認できる



# TMI実践基盤： オンラインメディア教育とサポート実践

様式2(2) p.9



Graduate Program for Lifestyle Revolution based on Transdisciplinary Mobility Innovation

6 研究科合同の学位プログラムであるため、実講義をタイミングを合わせて受講するのが困難である



## 講義のオンラインメディア化を推進

→ 単なる講義の録画ではなく、適切な単位で分割し、能力に合わせ必要な部分を学べるように

俯瞰・課題発見力

専門研究力

## オンライン講義化は年次進行で充実

- ・多様な分野の講義やセミナー・ワークショップをメディア化し、オンラインで活用可能に
- ・メディア化の際には、講師側に十分な権利確認を実施。最終的に100コースを目指す

超学際教員討論型講義などの予習にも活用

## リカレント教育向けにも活用

社会人向けのリカレント教育にも活用し、受講料を本事業の維持費に  
(外部のオンラインコース事業者とも連携)

一方、オンライン講義だけでは不十分  
→ 履修生のサポートが必要

## オンラインサポート実践

- ・サポートチャットや遠隔指導を実施

教育効果

価値共創力

後輩のサポートを通じて  
自らもより深く再学習し・理解が進む

# TMI実践基盤： グローバル体験

様式2(2) p.9



Graduate Program for Lifestyle Revolution based on Transdisciplinary Mobility Innovation

## 世界屈指のモビリティ研究拠点との連携に基づく海外インターンシップ



(機関名：名古屋大学 プログラム名称：ライフスタイル革命のための超学際移動イノベーション人材養成学位プログラム)

# TMI実践基盤： 起業実践



Graduate Program for Lifestyle Revolution based on Transdisciplinary Mobility Innovation

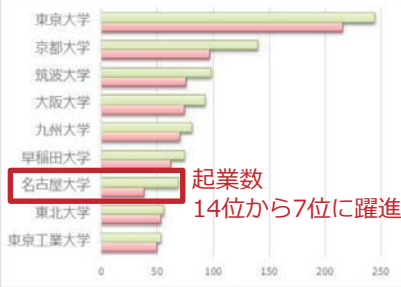
## 起業の企画から設立までを実践

教育効果

価値共創力

挑戦・回復力

### 名古屋大学発ベンチャー による起業の連鎖



資金調達額  
50億円

J-Startup



インフルエンサー  
の連鎖

TMI人材養成  
学位プログラム

インフルエンシャル  
ベンチャー

Tier IV  
Intelligent Vehicle

資金調達額  
150億円



インフルエンサー  
の連鎖

J-Startup

起業経験者群

博士課程学生群



J-Startup



Tryeting

株) トライエッティング (2016年)  
工学研究科 長江祐樹 (代表取締役社長)



株) パーセプション  
エンジン (2019年)  
情報科学研究科  
Abraham Monroy Cano  
(代表取締役社長)

株) Legal AI (株) (2017年)  
情報科学研究科 山腰貴大  
(取締役CTO)

BrainIV

株) ブレインフォー (2018年)  
情報科学研究科 清谷 竣也 (代表取締役社長)

株) HL  
情報科学研究科 (2015年)  
情報科学研究科 (2019年3月修了)  
林知樹 (取締役)

OPTIMIND  
株) オプティマインド (2018年)  
情報科学研究科 松下健 (代表取締役社長)

MapIV  
株) マップフォー (2016年)  
情報科学研究科 橋川謙樹 (代表取締役)

# TMI博士研究： 産学共創研究



Graduate Program for Lifestyle Revolution based on Transdisciplinary Mobility Innovation

## 博士研究の一部としての産学共創研究

産学共創教育の一環として企業との共同研究を実施

専門研究力

俯瞰・課題  
発見力

価値  
共創力

産学共創委員会

委員会が OI推進室と  
モビリティ社会研究所と  
連係して戦略的に  
産学連携の方向性を支援

プログラム履修生

異分野  
指導教員

テストベッド  
活用

産学共創  
研究

所属研究室  
(指導教員)

民間企業  
・自治体

未来社会創造機構

モビリティ社会研究所

プロジェクト雇用  
若手研究員

オープンイノベーション  
推進室

超学際型の共同研究の  
実現を目指す

# 学位プログラムの質保証

Graduate Program for Lifestyle Revolution based on Transdisciplinary Mobility Innovation

専門分野を深化し移動イノベーションに関する俯瞰的な知識・実践を用い、  
**専門家チームによる超学際協働**ができるライフスタイル革命のための人材を育成

## ディプロマ・ポリシー

学位審査委員会には基礎分野の専門家に加え**異分野の研究者**及び実務家を加え、専門分野の高度な能力を含む**5つの力**を評価し、**超学際協働での研究成果(共著等)**を求める。

**QE1, QE2は、各時点での到達目標をディフェンス式面談により検証**

## QE2

D1終了時点で、異分野教員・実務家による評価委員会において、プログラムで得た経験と**学位取得**に向けた研究計画・準備が整っているかを確認する  
 自らの研究計画についてのディフェンス式面談を実施し、**専門研究力**を確認

## QE1

M2修了時点で、異分野教員による評価委員会において、TMI知識基盤の履修と、**専門研究力**を確認する。特に、**俯瞰・課題発見力**を獲得できているかを確認するために、提示された課題に対し短時間の準備で議論する形式の面談を実施

## カリキュラム・ポリシー

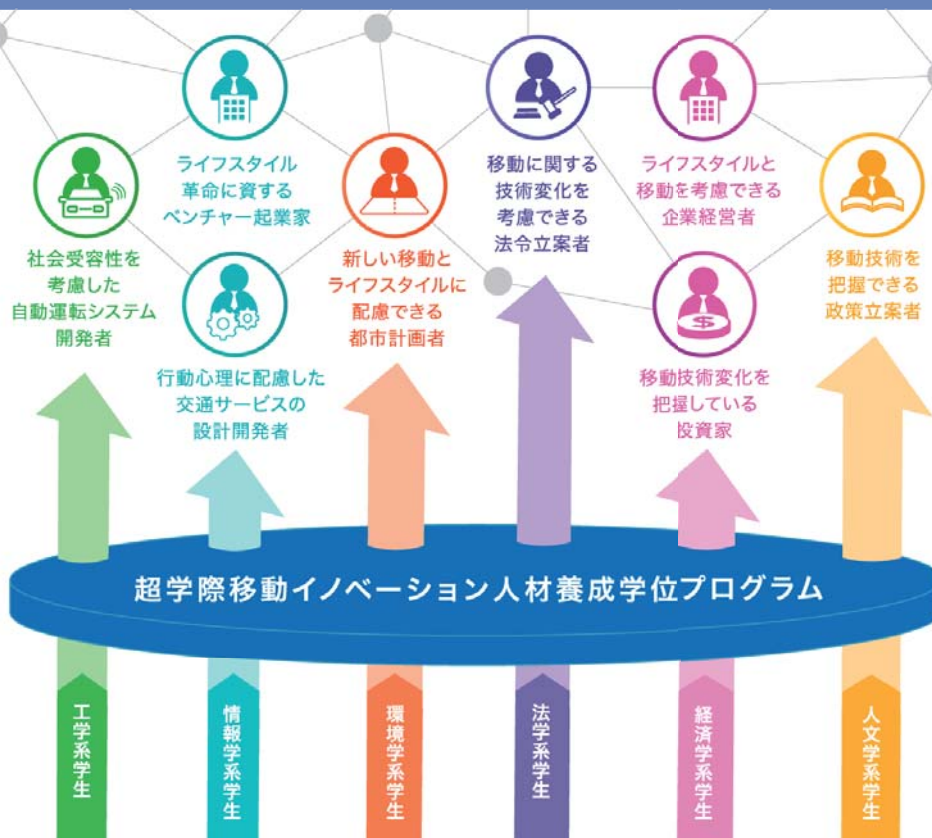
専門家チームによる協働を可能にする、5つの力を身に着けるための**超学際協働力を涵養する3階層のカリキュラム**を構成

## アドミッション・ポリシー

専門分野の基礎知識と幅広い分野に対する興味を持ち、社会貢献と**移動イノベーションに基づくライフスタイル変革**に高い意欲をもつ人材

# 修了後のキャリア例

Graduate Program for Lifestyle Revolution based on Transdisciplinary Mobility Innovation





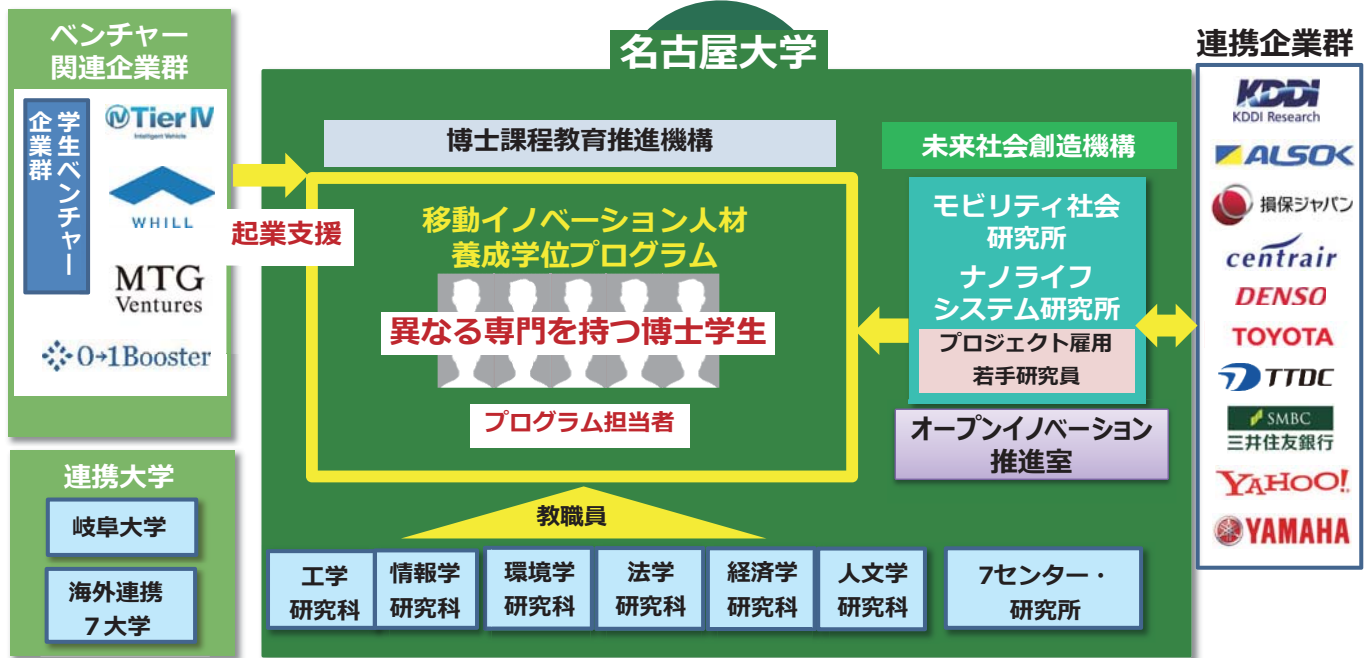
# 学位プログラムの実施体制

様式2(2) p.10

様式2(3) p.16

Graduate Program for Lifestyle Revolution based on Transdisciplinary Mobility Innovation

異なる専門を持つ博士課程学生が、プログラム担当者、若手研究員、ベンチャー企業創業者・実務家と共に切磋琢磨する「集団指導・学修体制」を構築

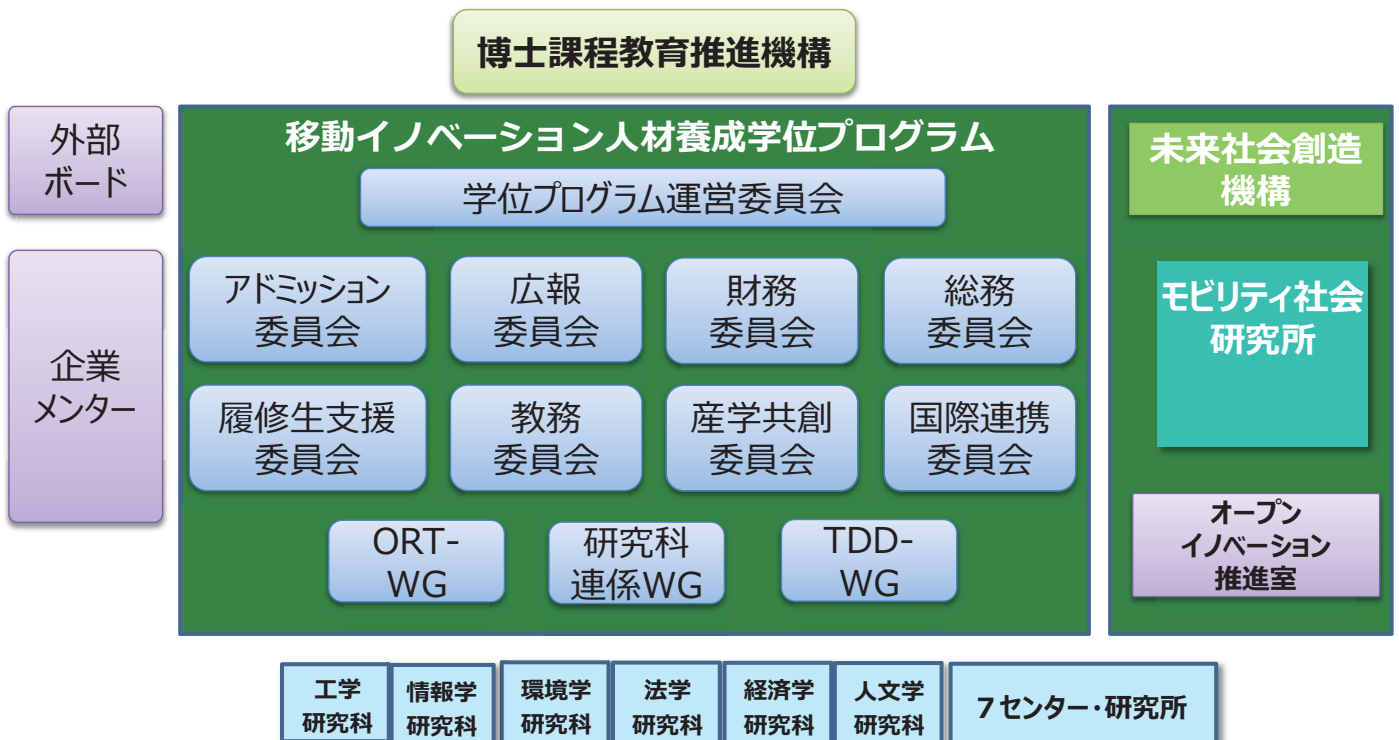


# 運営組織図

様式2(2) p.10

Graduate Program for Lifestyle Revolution based on Transdisciplinary Mobility Innovation

## 学位プログラムとしての組織体制



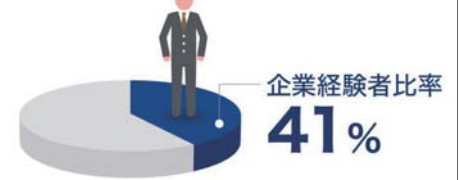
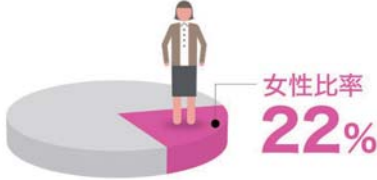
# 担当者構成の卓越性

Graduate Program for Lifestyle Revolution based on Transdisciplinary Mobility Innovation

異分野教員と民間企業からなるダイバーシティに富んだ担当者構成

名古屋大学

民間企業



# 実施組織の卓越性・国際性

Graduate Program for Lifestyle Revolution based on Transdisciplinary Mobility Innovation

工学・環境学：多彩な国際人材育成プログラムの運営実績

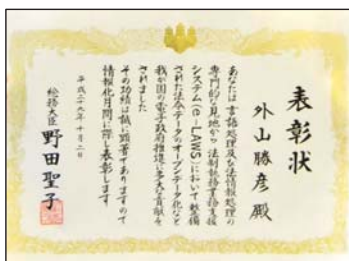
- 国際先端自動車工学サマースクール (NUSIP)
- 国際環境人材育成プログラム (NUGELP)
- 国際プログラム (G30) 自動車工学プログラム

工学・情報学・環境学：モビリティに関し卓越した研究実績とモビリティ社会研究所との連携

- IEEE ITSC (2014-2018) 機関別論文採択数 **名大は世界で12位**  
(北京交通大 1位、デルフト工科大 3位、UC バークレー 5位、東大 18位)
- IEEE IV Symposium (2014-2018) **名大は世界で12位**  
(ミュンヘン工科大 1位、UCバークレー 7位) いずれもScopus調べ

環境学：持続的共発展教育研究センター  
EUの国際都市間連携の日本事務局

法学・情報学：法制執務業務支援システムへの貢献で  
総務大臣から表彰 (文理融合実績)



法学  
×  
情報学

男女共同参画活動

・UN Women HeforShe

「IMPACT10x10x10」世界10大学として選出

